

徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の進捗状況報告

徳島小松島港沖洲(外)地区では、平成21年度からフェリー貨物の増加に伴う船舶の大型化に対応した新しいターミナルを徳島県と四国地方整備局で整備しています。

工事は平成26年5月からグラブ浚渫船を用いて水域施設（泊地、航路・泊地）の浚渫工事を実施しており、11月頃には完了する見込みです。

浚渫で発生した浚渫土はそのままでは強度が低く建設材料としては使用できないため、プレミックス船工法を用いて固化処理を行い、耐震強化岸壁の裏埋め材料として利用したほか、固化処理した土を岸壁背後に作った窪地（ポンド）に1～2日間仮置きし、強度発現後にダンプ運搬して高速道路整備計画場所の盛土材料としても利用しました。（「プレミックス船工法」は、なるほどみなと講座で紹介します）

浚渫完了後には岸壁のエプロン舗装工事を行う予定であり、平成27年3月の耐震強化岸壁（-8.5m）完成に向けて、鋭意整備を進めていく予定です。



↑ 泊地、航路・泊地浚渫状況（10月）



↑ 浚渫土砂改良・運搬状況（9月）

撫養港海岸整備事業の進捗状況報告

撫養港海岸整備事業は平成18年度から事業着手し、今後発生が危惧されている東南海・南海地震や、それに伴う津波による被害を防ぐため、地盤改良及び堤防改良工事等を行っています。

このうち、鳴門競艇場付近の工区では、平成26年4月上旬からスタンド等の解体作業を東側から開始しており、撤去後は順次、地盤の液状化を防ぐため、砂を圧入して密度を高めるSAVE-CP(静的締固め砂杭工法)を用いて施工を行っています。（「SAVE-CP」は、なるほどみなと講座で紹介します）

地盤改良後は防潮堤新設工事を行い、鳴門市が実施する新スタンド建設事業と歩調を合わせ平成28年春の競艇場オープンと同時にこの工区の工事が完了するよう、鋭意整備を進めています。



↑ 競艇場建物解体状況（7月）



↑ 地盤改良状況（10月）

